

例会報告：2013年2月5日（曇り）第1784回年通常例会

【続き】となるのは今後もやはりアメリカ式が強く残ってしまうのが現実だと思います。その中で日本人が日本人の特性を生かしながらかつてに評価されるためには、日本人の美徳である調和を重んじたり、周囲と協力をしながら謙虚さを持って誠実に頑張るという姿勢を保ちながら、同時に努力や成果を正當にアピールできる語学力ですとか、周囲と協力をしながら確実に自分の仕事はこなして評価を貰えるというように努める姿勢ですとか、傲慢になるのではないけれど得られた結果はしっかりと自分の成果として正しい評価を得られるように説得できる弁論能力というものが必要になってくるのではないかと思います。欧米で良しとされている事は身に付けて、日本の美徳の心の中に持ち続けるそんな日本人になれるようにこれからも仕事や勉強を私は続けていきたいと思っています。



◆ 会員誕生日

中野 明さん (2月6日)
小楠 雅昭さん (2月9日)

◆ 旦那様誕生日

久保田 登志男さん (2月7日)



◆ ニコニコ箱

剣持 悟委員

	ニコニコ箱	累計	目標
2月5日分	14,000	646,180	1,300,000

* 会員誕生日

中野 明さん…誕生日祝いありがとうございます。明日で63才です。

* 旦那様誕生日

久保田 知子さん…我が愛する登志男さんの誕生日を祝っていただきましてありがとうございます。

* その他

菊地 義雄さん…20周年に頂いた紅梅が咲き始めました。今日は富士宮産の花が来てくれました。高野さんよろしく。

本多 純二さん…先週は私の10代を聞いて下さりありがとうございました。その時にニコニコに入れ忘れましたので。

大谷 宏さん…久しぶりに出席です。早く例会に来たくて仕方ありませんでした。皆さん！！インフルエンザワクチンを毎年打たなければいけません。

剣持 悟さん…先月は入会月だったのを忘れていました。

■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2013年2月-

- ▶ 13日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「小田原RC小川 勝久会長/交換留学生のあれこれ」

小田原城北RAC マロニエ 201号室 19:30
「GSEについて」

- ▶ 14日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「松浦 秀敏会員/自己紹介」
- ▶ 15日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話：佐藤 泰文会員・青谷山福泉寺住職」

足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」

- ▶ 18日(月) **小田原** 報徳会館 12:30
「クラブ・フォーラム/国際奉仕委員会」

- ▶ 19日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「澤田 君雄会員」

- ▶ 20日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「会員卓話」

- ▶ 21日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30
「小林 悟様/相洋高等学校和太鼓部顧問」

- ▶ 22日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「クラブ・協議会」

足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」

- ▶ 25日(月) **小田原** ラスカ 18:00 M.U.受付なし
「夜間例会」

- ▶ 26日(火) **箱根** 湯本富士屋ホテル 18:00
「夜間例会/中川 康一会員」

- ▶ 27日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30
「会員卓話」

小田原城北RAC 足柄屋STUDIO(ダイヤ街) 19:30
小田原市栄町2-9-10 ナイス小田原ビル3F ☎0465-23-2331
「音楽フェス」

- ▶ 28日(木) **小田原中** 報徳会館 17:30
「クラブ・フォーラム/新会員セミナー報告」

-2013年3月-

- ▶ 1日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話：平間 章弘会員」

足柄 おんりーゆー 12:30
「会員卓話/青春そして今」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電 話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創 立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例 会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監 修：久保田 知子
編集長：須賀 俊和
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：49名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2012-2013
WEEKLY BULLETIN



【R. I. 会長】
田中 作次
【R.I. 2780地区ガバナー】
菅原 光志
【第9グループガバナー補佐】
鈴木 悌介



【会 長】小嶋 章司
【副会長】中野 明
【幹 事】久保田 知子
【副幹事】大川 久弥
【会場監督】清 康夫

奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE

本日の例会：通常例会（第1785回）

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2013年2月12日 12:30～13:30
司会：大川 久弥 副幹事

12:30	開会点鐘：小嶋 章司 会長 ローターソング斉唱「我等の生業」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：国際交流/アラリヤプロジェクト 卓話：永井 壯茂様/小田原市役所経済部管理監 「報徳の森プロジェクトについて」
13:30	閉会点鐘：小嶋 章司 会長

今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

2月19日 通常例会（クラブ・フォーラム） 12:30
担当：指導者育成委員会
卓話：石崎 孝委員
「私の考えるロータリー」

2月26日 通常例会 12:30
担当：プログラム委員会
卓話：菊地 義雄会員・中村 維孝会員
「私の10代」

3月5日 通常例会 12:30
担当：国際交流プロジェクト
卓話：未定
「未定」

3月12日 通常例会 12:30
担当：会員増強委員会
卓話：高橋 哲也会員・大川 裕会員
「新会員イニシエーションスピーチ」

MEMO



RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

例会報告：2013年2月5日（曇り）第1784回年通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
時間：12:30～13:30

❖ 会長挨拶

ロータリーの先輩

小嶋 章司 会長



私がロータリーに入って間もない時に、クラブの大先輩と飲む機会がありました。酔った勢いで「ロータリーに入った以上いずれ会長をやりたい」と言ってしまいました。しかし、大先輩はとがめることなく「その時は真っ先にスポンサーに報告をしないか君のスポンサーは夏賀さんだったね。」

それから15年たって会長を拝命された私は真っ先に夏賀さんに報告に行きました。訳あってロータリーをやめてしまいましたが、その人柄は昔と変わらず大変喜んでくれました。同時に皆さんによろしくと言われました。

私に、ロータリーアンとしての大事な礼節を教えてくれた大先輩は、今考えるとものすごい人でした。

私が小田原城北ロータリークラブへの入会を決めたことをその大先輩に話したところ「入るのは止めろ」って言うのですね。びっくりしてなぜですかとたずねると、「君はいくつになったかね」と言うので、「53です」と答えると「その年で入ったってお茶くみで終わってしまうよ。少し待っているよ」「俺が今新しいクラブを造っているから。その時に入るとチャーターメンバーといつて、えばってられるから。」

この先輩の独特の言い回しで他意はないのです。その証拠に私が入会したときにいた十数人のチャーターメンバーでえばっている人はだれもいませんでした。

また、先輩の言うお茶くみもそれなりに楽しかったです。なにもわからない私はそのまま夏賀さんに伝え、入会をことわりました。今考えると大変なことをしてしまいました。大先輩はクラブで相当な目にあったと思います。なにしろクラブを割ろうとしていると思われたからです。しかし、その大先輩は、私の事を本当に思って言ってくれたんだとおもいます。

結局私は夏賀さんにスポンサーになって頂き入会しました。大先輩は、私を一言もせめませんでした。それどころが大変に面倒を見て頂きました。大病をわずらって入院しお見舞いに行ったとき、何回謝ろう・謝ろうと思いがら謝らないうちに大先輩は亡くなってしまいました。しかし、今新しいクラブを造ろうなんて人がいますか？ 私はいまでもその大先輩を尊敬しています。



❖ 幹事報告

久保田 知子 幹事



- 1)米山奨学委員会の委員長を井上寛さんの後任として、渡部重海さんをお願い致しました。
- 2)第2520地区（岩手・宮城）より仙台空港をバナーで埋めつくし被害者を見守るプロジェクトに協力して欲しいというお願いがありました。我がクラブもバナーを送らせて頂きました。
- 3)本年は5人グループを2回やって頂きたいので、後期にもう1度開催していただきたいと思います。

❖ 出席報告

村瀬 雅實委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
2月5日	49(49)	37	0	75.51%
1月29日	49(46)	39	1	86.96%
1月23日	49(43)	23	4	62.79%

【欠席者】 12名

鈴木 進、辻村 彰秀、小林 和彦、上田 博和、木村 啓滋、西 寛、石橋 徹、小楠 雅昭、田代 博信、齋藤 永、石内 正彦、高橋 哲也

【今回MU】 0名

【前回MU】 増加なし

【前々回MU】 増加なし

❖ 委員会報告

会員増強委員会・・・志澤 昌彦委員

2名の方が新会員として入って頂きました。新会員の歓迎会を開催したいと考えております。本日ポストに入れさせて頂きましたが、2月19日、場所は小田原のダイヤ街のふらんす亭で行いますので、来週までに出席のご提出をお願いします。

❖ Table Flower

- ラナンキュラス
- 菜の花
- アリウムユアニー

ラナンキュラスの花言葉は、「晴れやかな魅力」「名誉」「名声」
菜の花の花言葉は、「快活」「活発」「元気いっぱい」



❖ 卓話

「日本人の精神性」

TOMTOMマネージメントアシスタント
高野 聡子様



現在私は、オランダに本社のあるカーナビですかマップデータを取り扱う多国籍企業の日本支社社長のアシスタントという仕事をしております。日本で言う所の秘書のような仕事であり、人事のサポートをしたり、経営陣のサポートを広く見たりという何でも屋のような仕事をしております。色々な国籍の人達と日々やり取りをしている中で気づいた、日本人の仕事に対する姿勢ですか、心の持ち方を、未熟な視点からではありますが

気づいた事を本日少しお話ししたいと思います。

私がなぜ日本人の精神性について考えるきっかけになったか、その経緯からお話したいと思います。私が大学時代に大学の派遣留学制度を利用して、半年間フランスのリオへ留学させて頂いたことがきっかけでした。留学中、私はホームステイを希望してある家庭で暮らしましたが、その家庭は重度の身体障害者の子供を持つ家庭だったので、家族で旅行に行くなど一切出来ない家庭でした。そのため毎年世界各地から学生を受け入れて滞在する学生を通して自ら訪れる事の出来ない国の文化ですか、慣習などに触れて旅行をした気分になるのが楽しみだという家庭でした。その家庭では2つ余分に部屋があったので、いつも2つの異なる国籍の学生を受け入れていたのですが、必ず2人のうちの一人は日本人にするという、大の親日家の家庭でした。そこから親戚、友人にも日本人の学生の良い所を話して回り、私と同じ大学の後輩ですか、同じ大学の付属の語学学校に留学している日本人の学生を紹介するなどして、いろいろな家庭に日本人の学生がホームステイをするほどに広がっていきま

した。私はなぜそこまでして日本人学生を受け入れたがるのかという事をその家族に聞いてみたところ、一つ目は、日本人は真面目に語学を勉強してからフランスに来てくれるので言葉に対する障害が少ない、2つ目は、家庭との間に何か問題があったとしても話し合いをすることで直ぐに自分の割所を認めて改善してくれる、素直で良い学生が多いという事。3つ目は、家庭の事情を察して自分勝手な行動で迷惑を掛けたりせず、むしろ家事を手伝ってくれたりと協力的であるという事だったのです。私と同時にホストファミリーに暮らしたニュージーランドの女子学生はフランス語を全く勉強してこ

なかったため、英語の話せないホストマザーとはいつも何か言い合いをしていて、その間に私がたって通訳をしていた事がありました。その子は結局2か月で家庭を出て寮に入ってしまった。言い合いをした彼女に聞いてみると、彼女からしてみるとお金を払って生活をしているのだから、自由に家を使わせてもらう権利がある。というように自分たちの権利ばかり主張するところがありました。半年間も同じ家庭にお世話になるのだから、お互いが気持ちよく生活できるようにと私は心掛けていたのですが、これは日本人なら普通に出来る気遣いじゃないかなと思っていました。

私は留学中に大学の付属の語学学校に通っていたのですが、その時にこのようなことがありました。ちょっと気弱で物事ははっきり言えない中国人の女学生に対し、南米出身の女性が「はっきり言いなさいよ」と彼女に対し批判するような事がありました。教室でも5割以上のパーセンテージを占める中国人の男女がそれを見て憤慨してしまい、南米の女性を罵倒し始めました。スペイン人ですと

か、メキシコ人は必死になだめようと説得をするのですが、中国人に対し真っ向から対抗してしまい中々事態が収まらなくなってしまいました。最初日本人は表だって行動することが出来なかったのですが、しだいに日本人が興奮するラテン系の学生達をなだめ始め、ある他の日本人は泣いている中国人の女の子を慰め、他の日本人学生は激しく反論する中国人の男の子をなだめなど、事態が収まるようにそれぞれがチームワークでその場を収めるように動きました。最終的には先生がその場をおさめたのですが、その行動を見ていて、日本人の調和を重んじる心が力を発揮することを気づきました。それ以外にも留学中に衝撃的な事件がありました。それはバスポート事件というもの。それは私が大学時代に英語の弁論部に所属していたのですが、その大会が京都で行われた時に、京都でスイスの女の子2人と知り合い、友達になりました。留学中にそのスイスの友達に会おうと思っておりました。そしてスイスに向かってる途中でバスポートを忘れたのに気づいたのですが、行ってみようと思って検問に向かうとやはり駄目ですと断られてしまいました。私はそれでも学生証を見せ、帰りの切符を見せ友人の住所も見せお願いしたのですが、警察官は駄目ですとの一点張りでしたが、日本人だと分かる連絡先等を全部知らせ、行って良いよと許可を頂きました。「日本人なら信用できるからね」と言われました。日本人は世界にこれだけ信用されているのだと、その言葉に強く感動したことを今でも覚えています。留学中に感じたことをまとめますと、日本人が不要な摩擦が起こらないよう先回りして配慮の出来る国民である。調和を重んじて周囲と協力して一つの事を成し遂げている力に長けている。誠実な態度を積み重ねて世界の色々な国々から信用の出来る誠実な国として一目置かれていることを改めて感じました。私は学生時代のそんな経験をを経て現在の職業に着きました。



た。多国籍企業で仕事をしてみますと、先程申し上げた日本人の良さは欧米流のビジネスの世界ではあまり生きてきません。日系企業に比べると、出世競争ですか、上司への自分のアピールの仕方がどれだけ上手か、同僚との足の引っ張り合い、自分がどれだけしているかを見せる力などが重要なようです。言葉は悪いのですが、日本語で言うと卑怯、姑息であったりする方が逆に出世したりするのが現状です。たまに外国人のエクゼクティブが日本に来ると日本人の従業員に対する評価よりも外国人の従業員の評価の方が明らかに高いなど感じる事があります。例えばエクゼクティブを囲んで全員でミーティングをしている時に外国人の従業員は自分の仕事をアピールするのがとても上手です。逆に日本人は偉い外国人を前にすると緊張してしまうのか英語もいつもよりつかえながらだったり、自分の仕事内容を過小評価して見せてしまうところがあります。表現方法も外国人は「私がしました」と言い、日本人は「私達がしました」と言います。日本人はアピールが苦手ですので実際の努力や成果が違った形で伝わってしまうので、私の上司はそのことを未然に防ぐために来日して本社のエクゼクティブと1対1でミーティングをします。私はそういった上司の行動は一目置いていたのですが、もっと日本人職員一人一人が自信を持って自らのパフォーマンスをしっかりとアピールできるようにならなければいけないのではと思うようになりました。日本人がどんなに誇りを持っているとか、良い所が沢山あるなど自己満足をしていても世界のビジネスのスタンダード【続く】

